

むゆーいづ

116号
No.1116

2017(平成29)年
4月1日

おてんとうさまの
ひかりをいっぱい
吸ったあたたかい
座ぶとんり
ようたな人
みつを

相田みつを美術館
オリジナルカレンダーより頂きました

発行者:高槻市氷室町2-19-30

浄土真宗本願寺派

萬徳寺

電話 (072) 696-0666

FAX (072) 692-0769

↓スマホからでも見れます

<http://mantokuji.net>

最愛の人を亡くしたあなたへ

私

にとつてもつとも胸が張り裂けそうになることは、「最愛の人を亡くした」「私の親や子どもがあとわずかな命だと宣告された」ときです。

人間はいつか亡くなるとわかっていても、どうしても受け入れることのできない悲しみに耐えなければなりません。

愛する人を失ったとき、「安らかに眠りください」とか「ご冥福をお祈りします」という言葉では片付けられません。それは亡き人の死を無駄にするということなのです。

私は師から「人間は二度死ぬ」と教えていただきました。一度目は肉体が死んだとき、二度目は人の記憶から消え去ったときだと言うの

です。ということは、人々の記憶に遺っているならば、確実に生きているということになるのです。

一人居て喜ばば二人と思うべし

二人居て喜ばば三人と思うべし

その一人は親鸞なり

(親鸞聖人『御臨末の御著』)

「寂しい時は耐えよ！」と親鸞聖人はおっしゃったわけではありません。

楽しいときのみ共有するのが本当の愛ではないのです。むしろ苦楽を共に分かち合ったときにこそ、愛は大きな宝となるのではないのでしょうか。

辛いですが、愛する人を亡くした苦しみや悲しみは消えてなくなりません。しかし、そのことで今ま

花まつり

◎四月八日(土)

午前十時より

場所 萬徳寺

★お子様と一緒にご家族の皆様も是非お参りください

永代経法要ご案内

◎四月八日(土)

午後二時(仏説無量寿経)

午後七時(仏説阿弥陀経)

◎四月九日(日)

午後二時(仏説無量寿経)

ご講師 本願寺布教使

宮部雅文 師

★当寺院には、平成27年報恩講より続いてのご勝縁です

★年行司(仏壯、総代)の方々によりますお志の受付は、午後一時十五分ごろ(二日目)よりしていただきます。

人生講座ご案内

◎六月二十五日(日)

午後二時より

場所 萬徳寺 本堂

講師 バイマーマーヤンジン 師

★楽しいお話をさせていただきます。

で気づけなかった大きなものもいた
だけたのです。

ある先生がいよいよ危篤^{きとく}となり、
大親友だけ病室に入って頂いたそ
うです。先生は、「またお浄土で会
おう」とおっしゃったといえます。す
ばらしい「いのち」のお言葉ですね。
あなたの心にあの人は必ず居ら
れます。共に生きてください。

姿かたちは見えなくても

その人がいた記憶は温かく心に残ります。

身体からだのぬくもりは感じなくても

その人ひとを思うとき、一人ではないのですね。

※川村妙慶著『愛し愛されて生きるための法話』から頂きました。

住職継職法要のご案内

◎十一月十二日(日)

午後二時より

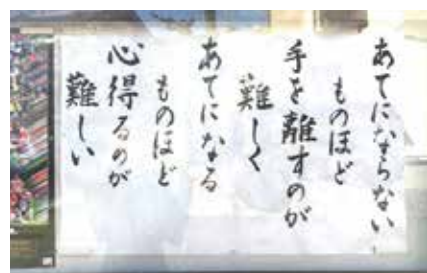
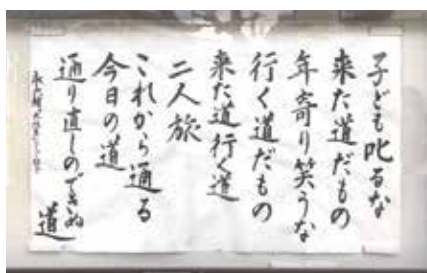
★午後一時より稚児行列



12月31日除夜の鐘
今年もたくさんのお参りの方々と一緒に
新年を迎えられました。



3月11日に仏教婦人会の皆さまと
東日本大震災七回忌追悼法要を
お勤めいたしました。ご講師は
大野考顕先生をお迎えしました。



伝道掲示板。毎月、若坊守が書かせていただいています。

住職の ひとり言



◆ 3月、お彼岸のお中日を過ぎますと、今年はようやく花開く心華やぐ季節を迎えました。おだやかな私たちの地方では、3月末には桜の開花宣言。桜前線が日本列島を縦断します。しかし、東北地方では、3月11日、6年前と同じように午後2時46分、雪が強く舞っていました。

◆ かけがえない命と暮らしが突然奪われた東日本大震災は、3月11日で発生から6年を迎えました。岩手、宮城、福島の前北3県を襲った津波や原発事故で、今も約12万3000人の方が全都道府県に散らばって避難し、被災3県の前設住宅に約3万4000人の方が暮らしておられます。被災関連死を含む死者は1万9416人、行方不明者は2553人の方々がおられます。震災の発生から6年という年月が過ぎますと、確実に記憶の風化が進んでいる一方、原発事故被害は拡大、深刻化し、人々の心までもしばんでいます。私たち真宗念仏者は被災された方々の苦しみ、悲しみの心に寄り添い、被災された方々のいのちを忘れてはなりません。

◆ 春はまた永代経法要の季節です。萬徳寺では、4月8日、9

日に厳修いたします。永代経とは永代にお経を伝えよとの志に感謝する法要です。皆さま、ぜひお参りいただきますようご案内申し上げます。

個人情報により非表示にさせていただきます。



誠にお寂しいか

ぎりです。どうかこの尊い仏縁を大切にしてくださいませ。亡くなられた父、母、我が夫、我が妻、我が子。皆さまはお浄土で仏さまになられ、私たちにお念仏香る明るい家庭を築いてくれよ!!と願っておられます。亡くなられた方から届けられたお念仏のお心をどうかお味わい下さいますよう。 南無阿弥陀仏

◆ 2月21日 萬徳寺筆頭総代であった吉田博光様が、突然にご往生され、お浄土へと還られました。本当に突然のご往生でございました。吉田総代様は、長年にわたり萬徳寺の護持発展にご尽力をいただきました。仏さまになられた総代様からいのちをいただき、私たちは念仏申す人生を歩ませていただきます。 合掌

◆ 本山でお勤まりになっています伝灯奉告法要も後期にはいりました。萬徳寺では、3月31日(金)に46名で団体参拝でお参りいたします。